

手水舎と香閣

手水舎と香閣は[身口意]のお清めをする処です。

手水舎（ちょうずや・てみずや）水盤舎（すいばんしゃ）御水屋（おみずや）とも呼ばれる。

総門をくぐり堂庭を進むと、石段の右手前に、手水舎があります。
ここ手水舎は手を洗う所ではありません。身体と口を清める処です。

基本的な作法

1. 右手で柄杓を持ち左手を清めます
2. 左手に持ち替えて右手を清め **水は飲まない**
3. 又右手に持ち替えて左手に水をため口を清めます **柄杓に口をつけないこと**
4. そして柄杓を手前に起こして柄杓の柄の部分洗い静かに元の位置にもどします。
口を清めた後で左手に水をかけて、もう一度お清めをする事もあります。

注意 お相撲さんの力水の様に、柄杓に口をつけないこと。左手に水をためて口に含みます。
柄杓には一杯水をすくい、四分の一ずつ水を使えばスマートにお清めが出来ます。
何回も水をすくっている方もいますが、多くても二回ぐらいにした方がいいでしょう。

香閣（こうかく） **心のお清め**

仁王門からの階段を上がると香閣があります。香閣から立ちのぼる煙を身体の痛い部分や、
具合の悪い箇所にあてると良いとされています。
最後に、このお香の煙を心にあてることによって心を清めます。

注意 心のお清めを忘れないこと

[身口意]のお清め（しんくい） **体と口と心を清める**

身——身体 手水舎でお清め
口——口 手水舎でお清め
意——心 香閣でお清め

身体、口、心の全てを清めて初めてお不動様に、お参り出来る清い体となります。

手水舎と香閣は、下記の写真のほか
釈迦堂前・出世稲荷・平和の大塔など3ヶ所ほどにあります。



手水舎



香閣